

# ROTARY CLUB OF NAGOYA MEINAN WEEKLY REPORT

2016-2017

名古屋名南ロータリークラブ

■承認/1991年3月8日 ■例会日/火曜日・PM6:30 ■例会場/名古屋マリオットアソシアホテル  
■会長/木下 福郎 ■幹事/細井 俊男 ■会報・雑誌・広報委員長/木村 猛  
■事務局/〒450-6002 名古屋市中村区名駅1丁目1番4号 名古屋マリオットアソシアホテル2202号  
TEL.052-586-2043 FAX.052-586-2054



人類に  
奉仕する  
ロータリー

URL <http://www.meinan-rotary.com> E-mail [info@meinan-rotary.com](mailto:info@meinan-rotary.com) 2016-17年度 国際ロータリー会長 ジョン F. ジャーム

## 第 1201 回

2016年11月22日(火) 曇 第19回

～ロータリー財団月間(11/2-8世界インターアクト週間)～

斉唱 四つのテスト  
出席 会員55名(出席率算入人数44名)  
出席 32名 出席率72.73%  
前々回補填率95.12%(11月8日分)  
ゲスト RI第2760地区 西名古屋分区  
幹事 岩佐 信機さん  
IM実行委員長 梅田 武久さん

### 副会長あいさつ

副会長 木村 猛さん

皆さま、こんばんは。今朝は、東日本大震災の余震で目が覚めました。私事ですが、昨日の夕方に区役所からFAXが参りまして、名古屋市に関連する700戸の建物と、それに付随する建物に手製爆弾を仕掛け、今日の10時半に爆発する予定だとする内容でした。私共役員は、地元のコミュニティセンターに朝早くから集まりました。どうも名古屋市だけでなく、全国的に流れた様で、タチの悪いイタズラで終わりました。

加藤さんがこれから地震についてお話されますが、私も少しお話しします。私共の住んでいる所は、名古屋市でも西の方で、中村区、中川区、南区、港区という地域は、東南海トラフ地震が起きた時には、大きな揺れもさる事ながら、津波に遭遇する地域でございまして、山手の方とは違った意味での避難訓練をしています。また訓練の前にまず備えよという事で、消火器や家具の転倒防止等の普及活動をしております。地震でテレビ等が動き、その下敷きとなって骨折して動けなくなり、火災の発生で逃げ遅れる事もありますので、まず事前に備えをしていただく事が大切です。

頭や首に物が当たると致命傷になりますので、大きな地震が来た時には、布団なり机の下なり、まず身をかがめて大切な所を守ります。大きな地震でも2～3分位で一旦は止みますので、周りを見回し、小さな火事であれば消火器で消す。そして家族の安否確認をしながら外に出るのですが、その時に電気のブレーカーは必ず落としてください。



阪神淡路大震災の時の火災の大部分は、震災後の通電時に起こっております。必ずブレーカーを落としてから避難をしてください。そして外へ出たら入口の所にタペストリーと言って、この家はここに避難しますとか、家族は全員避難しましたという印を掲げていく。このタペストリーですが、後から消防隊がいちいちドアを叩いて調べる手間が省けるというメリットがあり、全国的に進めております。しかしデメリットもあって、誰もいないから泥棒に入るという輩も中にはいるという事で、なかなか難しい面もあります。以上で、会長代理挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

### インターシティミーティング案内

RI第2760地区 西名古屋分区  
幹事 岩佐 信機さん

本日は、IMとチャリティーゴルフ大会のご案内やお願いに参りました。先般のガバナー補佐訪問に際しましては、会長、幹事をはじめ、理事役員、皆さま方には大変お世話になり、ガバナーに良いご報告ができました事、高い席からではございますが厚く御礼を申し上げます。ありがとうございました。

IM実行委員長 梅田 武久さん

西名古屋分区、IM実行委員長を務めております梅田です。所属は、名古屋みなとRCで、金曜日のお昼にこちらの方で例会をさせていただいております。

今回のIMのご案内ですが、今日配布させていただいたパンフレットをご用意ください。ロータリー財団創立100周年記念も合わせて、今回、みなとRCがIMをさせていただきます。IMというと、時間の事など色々ご批判があったかと思いますが、来年3月24日(金)午後5時から8時半、名古屋東急ホテルで行わせていただきます。式典、講演が2つございます。そして、アトラクションがあって、親睦会といったような会食になる訳ですが、皆さまゆっくり寛いでいただいて、ご歓談、ご会食を楽しんでいただければ幸いです。席の移動が無い形で企画を考えております。

基調講演として、2016-18年度の国際ロータリーの理事であります、パストガバナーの斎藤直美さんから「ロータリーが変わる」というテーマでお話をいただきます。また、記念講演では、「エネルギー環境の近未来」という事で、中部大学教授の武田邦彦先生からお話をいただきます。先程、武田先生が最近こちらの方で卓話をされたというお話をお聞き

しました。本当に奇想天外で、非常に引き出しの多い、色々なお話をさせていただきます。今回もガソリンは枯渇しないからどんどん使いなさいというお話もされていました。また、アトラクションではジャズバイオリニストの寺井尚子さん、非常にエネルギーでエレガントで、情熱的な演奏をされる方です。テレビ、ラジオ、CMなどで幅広く音楽活動をされていますので、お楽しみいただければと思っています。

また、もう1枚のパンフレットの方で、ポリオ撲滅チャリティーゴルフ大会という事で、財団の創立100周年を記念して、サブタイトルとして「子供達にポリオのない世界を」という事で、現在アフガニスタン、パキスタン、ナイジェリアの3ヶ国において、まだポリオが消えていないという事もあり、何とか近い未来にポリオをゼロにしようという運動の中で、このチャリティーゴルフをさせていただきます。

IMからは1ヶ月程遅れますが、4月28日(金)に愛知CC東山コースで行われます。何とか皆さまに参加をしていただいて、IMの良さを味わっていただければと思っています。IMも2年間無かったので、今回の深谷ガバナー補佐が熱き思いでIMを取り戻したいという事で、名南RCの皆さまがご参加くださる事によって、何とか継続をしていきたいと思っていますので、是非よろしく願い申し上げます。

## 副 幹 事 報 告

副幹事 加藤 英敏さん

1. 次回29日(火)は休会です。お間違いのない様をお願いします。
2. 12月6日(火)は年次クラブ総会で、例会場は51階のシリウスです。12月度の理事会も17時半より51階マーキュリーで行いますので、よろしく願います。

## ニ コ ボ ッ ク ス

- ◆ 本日は加藤さんの卓話楽しみにしています。

加藤 英敏さん 伊藤 圭一さん 白藤 憲雄さん  
安藤 修さん 中西 芳子さん 三浦 和人さん  
武藤 正行さん 木村 猛さん 長尾 浅吉さん  
東山 直史さん 小野 雅之さん 本多 利郎さん  
三浦 隆さん 川辺 清次さん 犬飼りさ枝さん  
三島多恵子さん 大平 明子さん 下村 徹嗣さん  
中村 勝さん 高橋 司さん 川瀬 悟さん  
久米 伸治さん 森田敏二三さん 佐々木元彦さん  
鈴井 一博さん 田中 一雄さん

- ◆ 本日はインターシティミーティングおよびチャリティーゴルフ大会のご案内、ご参加の願いに参りました。よろしく願い致します。

西名古屋分区 幹事 岩佐 信機さん

IM実行委員長 梅田 武久さん

- ◆ 8~9月の日照不足がありましたが、10月になりやっと通常の日照時間となり今年の紅葉きれいになりました。先日、河口湖で青空快晴の中真っ赤な紅葉と富士山がとれました。 児島 徳和さん

本日合計 56,000円 累計 871,500円

## 社会奉仕委員会担当卓話

■卓話者ご紹介 委員長 三島多恵子さん

本日は、我が名南RCメンバーの加藤さんをお願いしました。喫煙室での立ち話の中で、熊本地震の際、ご自身の会社も被害を受けられたのですが、被災者の方に自ら色々手段を講じて支援されたこと聞き、すごく感動しまして、ぜひ皆さまに聞いていただこうと思いましたので、どうぞご清聴ください。

■熊本地震体験記

加藤 英敏さん

私共は熊本に工場があります。有明海のすぐ横にありまして、今回の震源地の益城町から南へ15~16km、相当揺れたと思っております。私共の工場は45年前に建てたもので、新しい工場ではありません。約1週間工場を停めました。一番感じた事は、会社で危機管理対応マニュアル、緊急連絡簿を作っておりましたが、携帯電話で全部登録をされていて、全然繋がらなくて、見直しが必要と思いました。また、避難場所も設定してありましたが、自宅近くの避難場所が分からない等、色々な問題が浮き彫りになって、今一生懸命マニュアルを再構築している所です。



現状、熊本がどうなっているかという、まだブルーシートを被った、2階建ての1階が潰れたままの状態の家が非常に沢山残っております。復旧が追いつかないのがありますし、建築屋が被災されてそれどころではないのも現実と思えます。また、体育館等の避難場所が9月末で全撤去となり、仮設住宅が熊本市内だけで約500世帯できており、そこに入れない方は、市外、広島等の県外へ紹介を受けて行っている方も非常に沢山おられます。それが今の現状です。

4月14日夜9時半、マグニチュード6.5、震度6弱、前震の震災が起きました。その時は、私共の工場の従業員は60名余りいますが、ほぼ全員出勤してもらいました。半分以上の方が、寝ずに出勤をしていただいて、本当にありがたかったです。ただ、工場へ来てても仕事ができる状態では無かったので、その日は生産するという事はほぼありませんでした。その後、本震と言われている16日午前1時半に震度6強が来ました。それから7月25日までの間に震度1以上が2000回以上。その内震度4以上が120回という事で、私も震災1週間後に行きましたが、震度4は相当揺れました。しかし、現地の従業員は慣れている感じでした。

復旧について、電気に関しましては、朝復旧しました。ガソリンスタンドは相当な列ができ、会社の営業車、2トン車はガソリンが入れられなくて困りました。食物に関しては、熊本市内のスーパー、コンビニには全然ありませんでした。前震の翌朝、昼位から報告が上がって、会社としても手を打たなければ思いました。水に関しましては、7日~1週間



後位に順次、自衛隊等での飲料水の配布が始まりましたが、それまで約1週間、断水の状況でした。緊急を要するので、私共の会社としては、ローテーションを組んで、本震の日から名古屋から新幹線に乗り、博多へ行き、そこでトラックを借りて近くのファーストフード店やスーパーであらゆる食材をトラックにいっぱい買って、水もまとめ買いし、その日は博多に泊まり、朝3時位に出発して朝7~8時くらいに現地に着き、工場の近所の体育館や車中で寝ている方へ配布しました。それと同時に、会社の50トン程の貯水タンクの水を入れる空のポリタンクを沢山購入してきていましたので、それを近所の方に配りました。

被災者の意見をまとめた物があるのですが、やってよかった事というのは、震災後すぐお風呂に水を溜め、体を洗えた事で、生活水の確保が教訓のかなと思えました。困った事では、タンクレスのトイレは水が流せなくて、処理に大変で、特に避難所に集団で寝泊まりしている人達は、3リットル位の水を持ってトイレに行き、用を足して流して次の人が入るとい事で、非常に時間を要しました。子供やお年寄りの方が非常に大変なのを目の当たりにしました。従業員の話だと、1週間位は着替えもできず、お風呂に入れない日が続いた様でございます。

私共の操業再開までですが、社員の安否確認においては、幸いけが人がほぼ無く、一安心しました。会社の被害ですが、休憩所の天井が落ちて使えなくなりました。一部、製造部2階の天井も落下しました。また、工場周辺が4~5cm地盤沈下しました。外に1,500リットル入る醤油タンクが2本ありますが、足が折れて醤油が全部流れ出てしまい、製造が出来なくなりました。また、水の配管が破損して、蒸気が通らなくなりました。こういう大きい事故は今まで無かったので、現場も対処の仕方がよく分からないし、工事屋に連絡がつかない、ついても来てもらえない等、相当混乱しましたが、会社OBに仲介してもらい助けてもらうという経験もしました。

震災からの経緯ですが、私共の工場は、4月16日から24日まで工場を停めざるを得ませんでした。正直こんなに停まるとは思っていませんでした。一番気を使ったのは、私共は食品工場なので、地震の後は水の流れが変わってしまいますので、水道水であれ水の検査をしなければなりません。しかし、地元が混乱している状況で、工場の水の検査をしていただける所は無く、ローテーションで毎日名古屋から空のペットボトルを持参し、現地で水を汲み、レンタカーで福岡まで来て、新幹線で名古屋まで帰り、持ってきた熊本の水を名古屋で検査するという事を1週間続け、4日後に水質が問題無いという事で工場が稼働しました。その間にも配管屋さんが、自宅が被災している中、修理に来ていただいたりとか、運送屋さんが自分の車を修理して集荷に来ていただいたという事等、周りの仕入先様に非常に助けられました。

一番困ったのが、冷凍原料、冷蔵原料が、外の営業冷蔵庫に入っていますが、電気が来ていないので冷凍品が全部ダメになりました。冷蔵品も一部取り出せましたが、電気が来ていないので大きな扉が開かなくてほとんど取り出せませんでした。4階立ての冷蔵庫で、エレベーターも止まっているので、荷下

ろしも大変で、荷物がほとんど出せませんでした。

ようやく復旧したのが、5月9日でしたので、非常に時間がかかりました。被害金額は数百万円ありましたが、天災なので保証もなく、そういう損失は会社で処理しました。そうは言うものの、会社の中に製品在庫が12,750パック位ありました。もう集荷してもらえなくて、スーパーもぐちゃぐちゃの状況です。熊本へ電話をして、被災地へみんな配ろうという事で、12,700パック位配布しました。幸い熊本は米所ですので、白米を炊き出ししているのですが、おかげで何も無く、特に佃煮あたりは非常に重宝されました。

この動機の一つには、震災で道路も寸断されていたので、1週間~10日はデリバリーできないだろうという判断で会社の在庫を全部配布したのですが、5年前に東日本大震災を経験した日本は、インフラ整備が非常に早くて、なんと3日後には全部デリバリーが可能となり、本来のお客様からの注文が1週間欠品し、怒られたという苦い経験もしました。欠品しますと、スーパーの売り場に商品が無くなってしまいますので、福岡、広島、神戸、大阪のメーカーから九州へ商品が流れ込み、私共も3週間後位に復旧して出荷したのですが、やはりスーパーさんも厳しい時に対応してもらったメーカーから元に戻してもらうというのは、なかなかありませんでした。4~6月位は、前年比で売り上げが半分位になってしまいました。お願いにも行きましたがなかなか厳しく、どうすれば良いか一生懸命に考えました。

そして、頑張ろう熊本のくまモンのシールを貼って、この商品を買ってもらえたら、1パック1円赤十字に寄付しますという事の提案をして、元の売り場へ戻そうと頑張りました。6月1日~10月末まで5ヶ月間やりました。予定としては5ヶ月で30万パック位かと思っていまして、30万円位の協賛で売り場が元へ戻るなら良いかと思っていまして、なんと123万7,000円も持ち出してしまいました。ことごとく読みが外れましたが、沢山売れるから良しという事になり、やっと9月末位から元に戻す事ができ、今は前年の売り上げ相当になっております。

この頑張ろう熊本のシールもよく見ると、くまモンが左利きになってしまっています。これは印刷屋さんが間違えたみたいなのですが、ネットで検索すると、くまモンが本当は左利きなのでは?と、くまモンのランクの一番上に出ているらしく、これはこれで良いかと思っております。色々な事を経験しまして、良い事もあり、非常に厳しい局面もありましたが、何とか今に至っているという状況です。ライバル会社の方から支援いただいたり、原料を分けていただいたりもありましたし、いざという時に会社の姿勢というのが見られるのかなとも思いました。

復興の状況ですが、仮設住宅が6月からどんどん出来上がり、体育館等の集団で寝泊まりする事は、保健衛生上、トイレや精神不安の問題で2次災害が起きるので、約3~4ヶ月すると条例で出来なくなっています。その代わりに沢山の仮設住宅を造り、そこへ移っていますが、お年寄りや小さい子供のいる家庭等もあり、優先順位をつけるのがなかなか難しいようです。また、田舎ですので3世帯で暮らしていた世帯が沢山あったのですが、仮設住宅の基本的間取りが4人家族になっており、ある地区は偶数

で受け渡すという風になっています。さらに、年配者はバリアフリーでなければ歩けないとか、車椅子が通れない等の細かい問題が沢山起きていて、その都度ニーズに対応しているという事でございます。新聞紙上では、再建に最低4年間は必要と言われており、仮設住宅は7、8月から最低2年間は今のままで、まだまだ増やしているという状況です。それもどこに建てたら良いかという問題もあり、そう簡単には建てる事も難しい状況もあります。

私共、地域貢献というのがありますが、私も震災が起きてから数回熊本に行きましたが、本当に今も益城町辺りは悲惨な光景で、震災直後と変わらないようなブルーシートが被っている所が沢山あります。年末、私共の商品を少しでも配布できないかと準備をし始めております。当初はおせちを配布しようと考えておりましたが、役所は土日、年末年始はお休みだからとか、万が一食中毒が起きたら責任が取れるかとか、色々な事を言われて悶絶しております。しかし、なんらかの手を打って、色々な支援を継続的にできないかと思っておる所でございます。

皆さまの手元の資料は、震災の2週間前の4月1日から名古屋から人事異動で単身赴任した事業部長が作ったものです。2週間で被災し、もう帰りたいと言われましたが、少し待ってくれと言って、バタバタしておりました。私共、名古屋から新幹線代も相当使いましたし、配布したお菓子のお金だけでも30万円位あったのではないかと思います。ただ、現地ではチョコレート等が非常に価値があり、お子さんに配ると非常に喜ばれたと聞いておりますので、お金に換えられない価値があったのかなとも考えております。

皆さまもこれから熊本に行く機会がもしありましたら、一度ご覧になっていただいて、こういう事があったのだという事を風化しないようにしていただければと思ひまして、本日卓話をさせていただきます。ありがとうございました。

## 第 1203 回例会 (12 月 13 日) のご案内

忘年家族会